

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立母衣小学校）

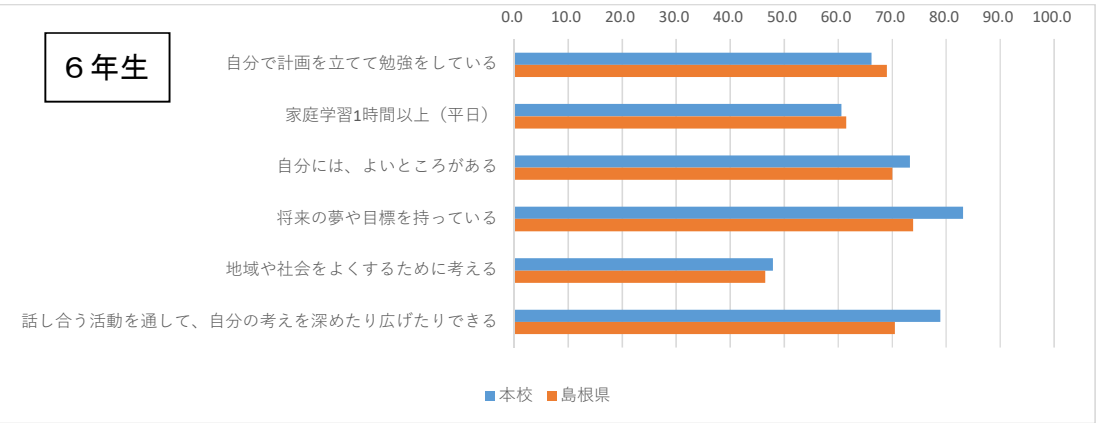
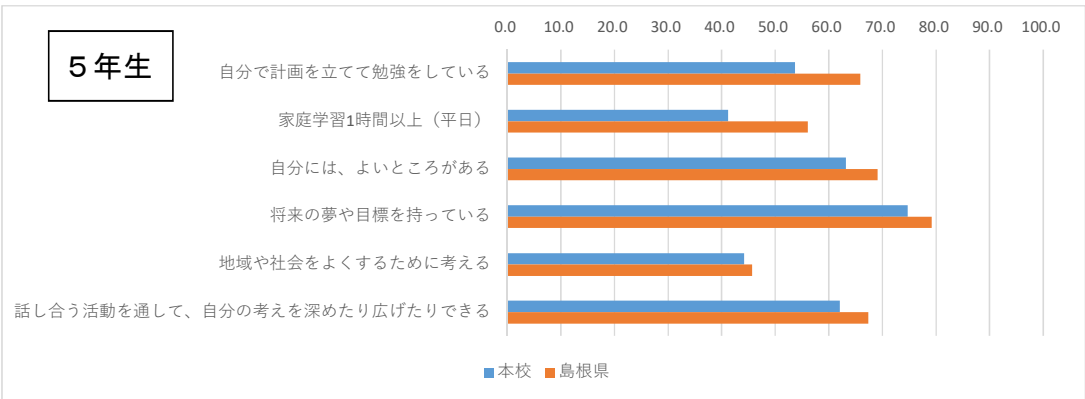
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年 国 語	○教科全体の平均正答率が高い。特に「読むこと」では、物語も説明文も、内容を正確に読み取り、解答することができる。 ○「漢字を読む」「漢字を書く」問題でも正答率が高い。 ●「書くこと」の領域に、苦しさがある。指定された長さで文章を書いたり、2段落構成で文章を書き表したりすることが苦手の児童がいる。	6 年 国 語	○「読むこと」に関する正答率が高い。物語も説明文も、内容や質問内容が理解できている児童が多い。 ○「漢字を読む」問題でも正当率が高い。 ●「書くこと」の設問では、自分の考えを書くことはできるが、記述の条件が「予想される反論と自分の考えを具体的に書く」のようになると、答えられなくなる児童が増える。
5 年 算 数	○「図形」「整数のなかま分け」領域の正答率が高い。多くの児童が、基礎的・基本的な内容をきちんと理解できおり、それを活用して、応用問題に取り組むことができる。 ●水そうの容積を求め、必要な水の量と比較する問題では無回答の割合が高かった。	6 年 算 数	○「図形」の平均正答率が高い。拡大図や縮図についてはよく理解できている児童が多い。 ●「比と比の値」は特に正答率が低い。等しい比についてや、比の値について、比を使って、一方の量から他方の量を求めることについて、正確に理解できていない児童がいる。 ●正答率の高い児童と、低い児童の差がみられる。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年	○基本的な生活習慣が身に付いている児童が多い。 ○「自分の力を伸ばしたい」と考えている児童が多い。 ●「学習に関する意識」について、主体的に取り組もうとする意識が弱い傾向にある。 ●「自己肯定感に関する意識」「挨拶をしている」についての肯定的な数値が県平均より低い傾向にある。	6 年	○基本的な生活習慣が身に付いている児童が多い。 ○「夢や目標をもっている」「自分の力を伸ばしたい」と考えている児童が多く、自己肯定感に関する意識も肯定的な回答が高く、学習についても前向きな回答をしている。 ●「挨拶をしている」についての肯定的な数値が県平均より低い傾向にある。
--------	---	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 5年生 98名 6年生 73名 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。